

## 令和3年度岩手県立磐井病院初期研修プログラム

### 【研修理念】

岩手県立磐井病院理念を理解し、常に病むものとあり、救急医療、地域医療に貢献できる医師となるようにプライマリ・ケアの基本的な診察能力(知識、態度、技能)を身に付け、社会常識の涵養、人格の陶冶に努める。

### 【研修到達目標】

- 1：On the job training で多数の実経験を積む
- 2：最短で専門医資格をとる
- 3：2年次で救急外来を仕切る
- 4：知識や技能だけでなく、医師としての人間性も磨く

### 1. プログラムの特色

岩手県立磐井病院（病床数315）は2006年4月に、自然豊かな現地に岩手県立南光病院（精神科）とともに新築オープンしました。

当院は「緩和ケア病棟」を有する「地域がん拠点病院」であり、さらに「地域周産期拠点病院」となっております。また、神経内科・脳神経外科、他の診療科も含めて、岩手県南・宮城県北の15万人の医療圏の拠点となっています。特徴として、地域がん診療連携拠点病院として諸施設（放射線診断機器<MDCT、MR、血管撮影装置など>、放射線治療<リニアック>、緩和ケア病棟<24床>）を有し、全人的、包括的ながん治療を行っています。また、救急指定病院として岩手県南・宮城県北医療圏での救急医療を担っています（1～2次（一部3次）のほぼすべての治療を行う）。とくに病院にヘリポートが設置されており、ヘリコプター搬送による医療も実践しています。

電子カルテを中心とした院内情報システムを整備し、「豊かな自然に抱かれた近代的な病院」で快適な研修生活を送ることができます。

卒後臨床研修では、必修化以前から30年以上にわたり研修医を受け入れてきた実績があり、地方の病院ならではのアットホームな雰囲気の中で、自由選択科目履修期間が長い柔軟なローテーションを提供します。また、建物が一体化している岩手県立南光病院で精神科研修を行うなど、ほとんどの必修科目（選択必修含む）が敷地内で履修できます。

初期研修修了後は、引き続き当院で後期研修（専門研修）を行うコースも用意しています。

### 2. 研修分野・研修期間（開始時期：令和3年4月から）

#### ◆ 必須ローテーション

- 内科：24週（消化器内科、循環器内科、脳神経内科、呼吸器内科）
- 救急：12週（集中研修4週と研修期間2年間を通して実施する月4回程度の日当直を8週に換算し12週以上の研修とする。）

○麻酔科：4週

(※診療科の事情から、2013年度からは、1年次の10月以降のローテーションとします。)

○外科：8週(一般外科※、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科等の外科系診療科)※一般外科での研修を最低8週

○小児科：4週

○産婦人科：4週

○精神科：4週(南光病院)

○地域医療：4週【原則2年次】

○一般外来：(4週)内科、小児科、地域医療、総合診療科(選択)の研修の中で、並行研修により、4週以上の研修を行う。

◆ 保健・医療行政として一関保健所(保健衛生行政)研修、2年次には日赤の献血事業に参加し、献血業務における面接及び健康診断を実施(月1~2回程度)。

◆ 自由選択：48週 研修可能な診療科は必修科目に同じ診療科のほか、総合診療科、画像診断科、放射線治療科、緩和医療科も選択可能。また、2年次の自由選択は、岩手県内の全研修病院(協力型臨床研修病院)の研修可能な診療科を選択できる。希望者は、個別にプログラム責任者に早めに相談すること。プログラム責任者は希望病院ならびにイーハトーヴ臨床研修病院群の事務担当に連絡する。

#### ■ 研修ローテーション(基本)

1年次	内科 24週				麻酔 4週	救急 4週	外科 8週	自由選択 12週
	5月~ 当直・救急							
2年次	地域 4週	精神 4週	小児 4週	産婦 4週	自由選択 36週			
	当直・救急							

※ 当院のプログラムにおいて、研修医に必要な期間を理解しやすく示したものであり、最も標準的なローテーション順を示しているもの。

### 3. 研修指導体制等

臨床研修管理委員会およびその下部組織である、実動的な臨床研修委員会のもと、指導医および上級医が研修医を指導する。

- ・ 研修管理者：病院長 佐藤 耕一郎
- ・ 研修実施責任者：医療研修科長 桂 一憲
- ・ 臨床研修管理委員長：医療研修科長 桂 一憲
- ・ プログラム責任者：第2脳神経内科長 佐々木 昭人
- ・ 副プログラム責任者：理事 加藤 博孝  
内視鏡科長 横沢 聡  
災害医療科長 前川 慶之

《協力型臨床研修病院》

協力型臨床研修病院	研修責任者	住所	連絡先
岩手医科大学附属病院	下沖 収	紫波郡矢巾町2丁目1番1号	019-653-7111
岩手県立中央病院	池端 敦	盛岡市上田1丁目4-1	019-653-1151
盛岡赤十字病院	久保 直彦	盛岡市三本柳6地割1-1	019-637-3111
岩手県立胆沢病院	米田 真也	奥州市水沢字龍ヶ馬場61番地	0197-24-4121
岩手県立南光病院	馬場 克司	一関市狐禅寺字大平17番地	0191-23-3655
岩手県立千厩病院*	宗像 秀樹	一関市千厩町千厩草井沢32-1	0191-53-2101
岩手県立大船渡病院	小笠原 敏浩	大船渡市大船渡町字山馬越10-1	0192-26-1111
岩手県立釜石病院	坂下 伸夫	釜石市甲子町第10地割483-6	0193-25-2011
岩手県立宮古病院	吉田 徹	宮古市崎鋏ヶ崎第1地割11番地26	0193-62-4011
岩手県立久慈病院	遠藤 正宏	久慈市旭町第10地割1番	0194-53-6131
岩手県立二戸病院	佐藤 昌之	二戸市堀野字大河原毛38番地2	0195-23-2191
盛岡市立病院	佐々木 一裕	盛岡市本宮五丁目15番1号	019-635-0101
北上済生会病院	佐藤 嘉洋	北上市花園町1丁目6-8	0197-64-7722
岩手県立中部病院	田村 乾一	北上市村崎野17地割10番地	0197-71-1511

《臨床研修協力施設》

施設	研修責任者	住所	電話
国立病院機構花巻病院	八木 深	花巻市諏訪500番地	0198-24-0511
特定医療法人博愛会一関病院*	佐藤 隆次	一関市大手町3-36	0191-23-2050
岩手県立軽米病院*	横島 孝雄	九戸郡軽米町大字軽米第2地割54番地5	0195-46-2411
国立病院機構岩手病院*	堅山 真規	一関市山目泥田山下48番地	0191-25-2221
一関市国民健康保険藤沢病院*	佐藤 元美	一関市藤沢町藤沢字町裏52番地2	0191-63-5211
岩手県立大東病院*	杉山 照幸	一関市大東町大原字川内128番地	0191-72-2121
岩手県一関保健所	仲本 光一	一関市竹山町7-5	0191-26-1415
社団医療法人西城病院*	水野 生一	一関市八幡町2番43号	0191-23-3636
岩手県赤十字血液センター	増田 友之	盛岡市三本柳6地割1-6	019-637-7201
医療法人社団愛生会昭和病院*	杉内 登	一関市田村町6-3	0191-23-2020
岩手医科大学附属内丸メディカルセンター	下沖 収	盛岡市内丸19番1号	019-613-6111
特定医療法人盛岡つなぎ温泉病院	關 博文	盛岡市繋字尾入野64-9	091-689-2101

4. 募集要項

(1) 募集定員

8名

(2) 研修医の採用方法

岩手県が企画する合同面接会、および磐井病院の独自の面接（都合により合同面接会

に参加できない場合は、随時面接を実施。)を行い、マッチングにより採用を決定する。

- 必要書類：履歴書、卒業（見込）証明書、成績証明書
- マッチングの参加：有り
- 選考方法：面接、病院見学、学業成績、クラブ活動などから総合的に選考
- 募集時期：令和3年6月1日頃から
- 選考時期：令和3年6月20日頃から

## 5. 研修医の処遇等

- 身 分：会計年度任用職員  
(1日7時間45分、週38時間45分勤務)、時間外勤務有り
- 任用期間：2年(2年修了後に後期研修医(常勤医師)として採用可能)
- 報酬月額：1年次 345,000円 2年次 395,000円
- 手 当：宿日直手当 1年次 \*10,500円 2年次 21,000円  
\*1年次の当直研修は超過勤務手当を支給する
- 支給見込月額(宿直4回、超過勤務60時間として積算した税込額)：  
1年次 465,000円 2年次 713,000円
- 休 暇：1年次10日 2年次11日の有給休暇、夏季休暇、特別休暇有り
- 保 険 等：社保(協会健保)・厚生年金、雇用保険、労災保険加入
- 健康管理：年2回の定期健康診断、婦人検診(希望者)
- 宿 舎：公舎を貸与(有償) 独身者 2K(20年3月新築)、妻帯者用には別途考慮
- 医局に机・ロッカー・パソコン：常勤医師と同じ
- 白衣無料貸与(洗濯含む)
- 賠償保険：病院保険に加入(任意の勤務医賠償責任保険個人加入推奨)
- 学会出張旅費：年120,000円
- インターネット常時接続(研修医全員にPCとiPadを貸与)
- 今日の診療指針イントラネット版(電子カルテ端末で閲覧できます)
- 医学中央雑誌Web、メディカルオンライン(METEO)